

いただきもの

昨年、アウルが警備と清掃をお願いしている株式会社アスピックさんから、創業50周年の記念にシャワーキャリーをいただきました。施設として必要なものを事前に聞き取りされた上での寄贈で、職員一同大感激でした。

ありがたいことに、アウルは周

囲の方々からさまざまな支援をいただいています。お近くにお住まいの方から届けられる家庭菜園の新鮮野菜、年2回開催のレストランコンサートに出演されるプロの音楽家の演奏、手弁当で訪問されるボランティアの方々の歌やウクレレ演奏と、いただきもののかたちはさまざま。あたたかなお気持ちに触れるたび、アウルが地域の方々に支えられていることを実感します。



スタッフ リレーエッセー

ご家族の気持ちがわかる介護職に

私がこの仕事をするきっかけになったのは母の病気でした。発病当時はショックが大きく、さらに介護もあり、もう大変でした。利用していた施設の職員さんに自宅の介護で困っていることを伝えるとコツを教えてくれ、困り事が改善されました。感謝の気持ちでいっぱいになり、私も介護の職に就いてたくさんの人の役に立ちたいと思うようになりました。



介護職員 小林美晴

今まで家族側だった私には、ご家族の気持ちがわかります。「私が母にしたいと思うことは、ご家族もしたいと思っている」をモットーに、入居者様の笑顔を心の支えにして頑張っています。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

いやし課見習い補 りりこ&ここな



あのカメラ
めがけて
ジャンプしよっ!

ことばのトピラ

冬道の転倒防止グッズ

杖先に着脱式アイスピック (写真)、靴底に着脱式の携帯スパイクと、冬道の転倒防止に便利なアイデア商品がいろいろと発売されています。アウルを通しての入手も可能です。



●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

交通機関 ●地下鉄南北線「真駒内」駅下車
●じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車 (約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 だより

その29
2014年1月

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



今年もよろしくお願ひいたします

代表取締役 武田 治信

平成26年が明けましたが、皆様にとって昨年はいかがでしたか。私は暮れに読んだ百田尚樹氏の『永遠の0(ゼロ)』にとっても感銘を受けたので、古い昭和の戦争の話ですがご紹介します。2009年に出版された小説で、太平洋戦争の特攻の様子を兵士たちの様々な思いで描いており、映画にもなりました。

話は宮部健太郎という青年が姉と二人で祖父のことを調べることから始まります。現在の祖父は血縁関係にない。元海軍関係者の名簿を入手し、「宮部久蔵という人を知りませんか?」という手紙を出し、9人から「知っています」という返事が来る。姉弟がその一人一人に会いに行き、祖父にまつわる衝撃的な話を聞いていくうちに、バラバラだった9人の証言が最後には一つにつながっていく。そんなドラマチックな展開になっています。

最初に会った元少尉は「宮部久蔵は臆病者で、いつも逃げ回っていた」と罵倒し、姉弟をがっかりさせる。二人目の元中尉は「気性の荒い人間ばかりいた海軍の中

で、宮部さんだけはいつも丁寧な口調でした」と敬意を表したが、その人も「私は妻のために死にたくありません」という宮部の言葉に失望したと話す。だが、戦闘機乗りとして一流の技術を持っていたらしく、たくさんの海軍兵が宮部から飛行技術の指導を受けていた。

宮部は特攻に行くことを拒否していたが、仲間や後輩などがどんどん特攻隊として死んでいく中、拒否できない状況になる。そして、特攻出撃となった日、宮部は乗り込む予定の飛行機ではなく旧式の飛行機に乗っていくと言う。皆がやめとけと言うのをかたくなに拒み、旧式の飛行機に乗り死んでしまう。

宮部が乗るはずだった飛行機で出撃した青年は、エンジントラブルで引き返し無事だった。飛行機に詳しくた宮部はエンジン音で飛行機の不調を見抜き、生きて帰れるその飛行機を後輩に譲ったのだ。そして、その譲られた青年が現在の祖父だった。宮部の愛の物語。感動しました。



春

遅めの春を
待ちきれず、
外出行事スタート



夏

例年になく
暑かった夏、
お祭りで暑気払い



毎日の暮らしに 笑顔がいっぱい

「旅するように暮らしたい」。

開設当初に掲げたテーマのもと、アウルは昨年も入居者様の毎日を彩るさまざまな行事を企画・実施し、旅のような発見

や驚きに満ちたワクワクする暮らしづくりを目指しました。

お正月を祝う行事やおせち料理から始まり、節分、ひなまつり、敬老の日、クリスマスなどの歳時イベントに、お花見や外食といった外出行事、運動会や収穫祭といったアウルならではの

の恒例行事を加わえて組み立てられた年間スケジュールは、季節感にあふれています。

今年も入居者様の輝く笑顔がたくさん見られるよう、ケアの質を高め、新しい企画にもチャレンジしていきますので、よろしくお願いいたします。

四季折々の行事で楽しい思い出づくり 写真で振り返る2013年

紅葉、温泉、秋の味覚、
手に汗にぎる運動会、
季節の魅力を全身で満喫

秋



雪のにおいのする
外気とはうらはらに、
熱気あふれる年末行事

冬



※クリスマス会の写真は2012年のものです。2013年は12月21日(土)に行いました。